

1 新型コロナウイルス感染症について

「新型コロナウイルス (SARS-CoV2)」はコロナウイルスのひとつです。コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや、「重症急性呼吸器症候群 (SARS)」や 2012 年以降発生している「中東呼吸器症候群 (MERS)」ウイルスが含まれます。自分自身で増えることはできませんが、粘膜などの細胞に付着して入り込んで増えていきます。発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化することもあるため、予防接種を受けておくことが効果的です。

2 接種を受ける前の注意事項

(1) 一般的注意事項

気にかかることや分からないことがあれば、予防接種を受ける前に医師や看護師、みよし市役所〈保険健康課〉にお問い合わせください。

十分に納得できない場合には、接種を受けないでください。(下記、〈注意〉を参照のこと)。

予診票は接種をする医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。基本的には、接種を受けるご本人が責任を持って記入し、正しい情報を接種医に伝えてください。

〈注意〉インフォームドコンセント (説明と同意)

医師の十分な説明に基づく患者の同意をインフォームドコンセント (説明と同意) と言います。法律に基づく新型コロナワクチンの予防接種はあくまでも、ご本人の意思に基づいて接種を受けるものなので、インフォームドコンセントがない場合には、接種する医師は接種を行いません。接種を希望する場合もしない場合も、十分に医師から説明を聞き、理解した上で判断をしてください。

(2) 予防接種を受けることができない人

① 明らかに発熱のある人

一般的に、体温が 37.5°C 以上の場合を指します。

② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人

急性の病気で薬を飲む必要のあるような人は、その後の病気の変化がわからなくなる可能性もあるので、その日は見合わせるのが原則です。

③ ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなど重度の過敏症が既往がある人

「アナフィラキシー」というのは通常接種後約 30 分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。発汗、急に顔が腫れる、全身にひどいじんましんが出る、吐き気、嘔吐、声が出にくい、息苦しいなどの症状が続き、血圧が下がっていく激しい全身反応です。

④ その他、上の①～③に入らなくても医師が不適当な状態と判断した人

(3) 予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない人

① 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人

② 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人

③ 過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人

④ 過去にけいれんを起こしたことがある人

⑤ ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

⑥ 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人

3 使用するワクチン

JN.1 系統対応ワクチン

※本ワクチンは感染時の重症化を防ぐ目的で接種するもので、発症を完全に予防できるものではありません。

4 新型コロナワクチン予防接種を受けた後の注意事項

(1) 非常にまれにじんましん・呼吸困難・低血圧・ショック等のアナフィラキシー症状、心筋炎や心膜炎疑い等が報告されています。医師 (医療機関) とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。

(2) 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。

(3) 接種当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

(4) 副反応の多くは 24 時間以内に出現しますので、特にこの間は体調に注意しましょう。主な副反応をして、注射跡が赤く腫れ痛む・発熱・寒気・頭痛・全身のだるさなどがみられますが、通常 2～3 日のうちに治ります。

いつまでも続いたり、気になる症状があったら医療機関にご相談ください。